





## 六甲山での口ヶの三人娘

い」と詩人の竹中郁氏は個展によせてのことばを送つてゐるが、つめかけた人たちから「変に今様の流行を追わず、とても素直な写真である」と好評だった。★NHKのおはようさん 六甲山でロケ 好評のうちにストーリーが展開しているNHKテレビ朝のドラマ、田辺聖子原作「おはようさん」のロケが六甲山で行なわれた。今回のロケは、鮎子(秋

★NHKの本番がいつから



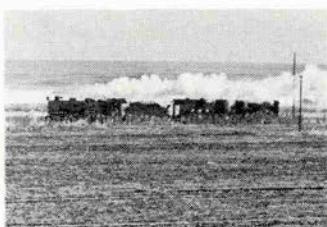
青霞集

「マンであることを自覚しました」と語る。

面。計画はすすみ、彩子は桐生は二人つきりになる。  
さて、それから……。(1)

★詩情豊かなSL写真集

汽車の表情に喜怒哀樂を見、田舎の少女に出会い、静かな自然に触れる、そんな撮影旅行。美しい風土の中に走りつづける汽車の写真集が出版された。



オホーツクの海

好評のうちにストーリーが展開しているNHKテレビ朝のドラマ、田辺聖子原作「おはようさん」のロケが六甲山で行なわれた。

このS.L.写真集は、神戸市交通局に勤務する上川庄二郎さんの自費出版で「人情味豊かな日本の風土をこよなく愛した」上川さんならしく、今までのS.L.写真集とちがって、風景の美しさ

ります・買いますの紹介、  
グループ参加への誘いなど  
さまざまな若者たちの活動  
のお知らせでいつも空席な  
し。とてもユニークな話題  
も多く、読むだけで楽しく  
なってくる。

このポストは、さんちかインフォメーションこうべの中央にあり、伝言カードを差し込むボックスが54個並んでいます。中学・高校の文化祭や体育祭の案内、壱

伝言カード人気の  
新しく生まれ変わったさん  
ちかタウンで人気を呼んで  
いるもののひとつに「あなん  
たのポスト・エコー54」があ  
る。

が味わいのひとつになつた  
写真七〇点が収められてい  
る。

美術  
ガイド





山海の滋味ゆたかに季節を  
盛りあげます。――

◆1・2階

# 日本料理

但馬水軍船料理



蟹料理の店

かに料理の店

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ  
078-321-6363

熟練の調理士が

新鮮な材料をぜいたくに使い  
新しさを加味し盛りつけます。

はさら  
婆沙利



# まだ遅くない

葉月一郎  
え・小西保文（題字も）



## 六甲おろし

受付の少年が戻ってきた。

「それじや、どうぞ」

精いっぱい声を張つて少年が客に告げる。

男——金原裕介は、当然だという表情で肯いた。まる

で自宅へ上がりこむような足どりで室内へ進んだ。

連れの婦人たちにも、あとに従うように目で示す。そして、一番奥のソファへゆっくり近づき、どっかりと腰をおろした。

「戸波記者が不在なら、支局長に——」という指名である。

本社発の、きまりきった通達書類から目を離すと、石津支店長はこの招かれざる客を迎えた。

頬がこけで、ここ一週間余の疲労がありありと眉間に刻まれている。そんな支局長の表情に鋭い一べつを流して、金原は名刺を出した。

（あらすじ）神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄（兵鉄）の公害をなくすために、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーンを企画、取材をすめている。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、バーの女ユカとの情事におぼれていた戸波峻記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま醉客にからまれているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亞紀子と親しくなり、亞紀子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したのだ。

兵鉄の花房総務部長は二人の関係をかぎつけ、亞紀子を工場勤務へと配置がえされる。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしたらしく、支局長や泉田次長らは本社へ喰問され、キャンペーントレーニングは掲載直前に中止と決まる。傷心の戸波は、酒に溺れ激情の中で亞紀子をなば暴勢的に犯し、絶望のあまり退社願を提出。その夜、たまたま会った花房総務部長にひやかされ、殴ろうとして逆に路上に叩きつけられてしまう。ケガの見舞に訪れた亞紀子は「すべて、なかつたことにしてよ」と告げるが、看病中のユカの愛情と献身に戸波の心は傾いてゆく。

一方、同僚の八木沢ら若手記者たちは、本社へ直訴して記事の掲載を実現しようと計画するが、居合わせた支局長らに止められ、不発に終わる。一週間後、金原という地元の男たちが「兵鉄のことでは会いたい」と支局へ乗りこんできた。

「なにか、兵庫製鉄のことだそうですね」  
支局長の声は、まだ心に鎧を着た硬さが残った。  
名刺には「豊販売」と職業が書かれている。住所をみ

ると、明らかに兵庫製鉄のお膝元である。

金原は、支局長の目が名刺から離れるのを待ちかねた

ようにも口をひらいた。

「あなたに差上げたいものがある。黙って受取つて頂きたい」

切口上で伝えると、婦人に目で促した。

婦人が抱えてきた風呂敷包みを開く。中には学校のテストの答案用紙のような大版の紙がみえた。部厚い。おそらく数百枚を超えるのはなかろうか。

「これだけど、ね」

風呂敷ごと、支局長の方へ押しやつた。

「これは……？」

「住民の声です。新聞社でいえば世論調査っていうのかな。ま、兵庫製鉄の工場周辺に住んでる人間の、声なき声やな。」

「……」

「どんな公害の被害をうけておるか、公害に対してどう思うか、兵庫製鉄に何を望むか、これからどうすればいいのか——まあ、そういう質問を、住民ひとりひとりに直接ぶつづけて、答えを書いてもらた。そういう内容と思つてもらえばいい」

「……一種のアンケートですか」

「さあ、何というか、ナマの声の集まりと、そう受けとつてもらいたいね」

感動が、少しずつ、激しい速度でふくんでゆく。それを率直に表情に浮かべて支局長は身を乗り出していた。

「これを、私の方の紙面に紹介させてもらつていいのですか」

「まだあるんや」

金原は、自分がかかえていたファイルを取り出すと、無難作に押しやつた。

「こつちはな、兵庫製鉄につとめている、つまり従業員の生活と意見や。これもアンケートというか、実感をそのまま書いてもらつた。六百人足らずやけどな」

公害企業に働く人間の意識調査——。なんというすばらしい贈物だろうか。

「ありがとうございます」

支局長の声が、やや震えを帯びた。感動と疲れが、この男の目頭をうるませてゐるようでもある。

「なあに、自治会員志の素人仕事よ。それも、時間かけて、ボツボツ集めたんや。たいした役には立たんやろけどな」

「しかし、これを、なぜ、私たちに……」

「うん。この前、わしのとこへ取材にみえた戸波とかと

いう記者さんな、あれが、有野社長になぐられたと聞いたもんで、そのお見舞いとして、これを持ってきたちゅううわけや」

（新聞記者を一匹、血祭りにあげてきた）有野は、そういってふれ回つたらいい。市議で、連合自治会長で、兵

鉄下請会社の社長——。地元の典型的実力者である有野が……。

「新聞なんかアテにしとらんと、わしはこの前、戸波記者にいうた。一般論としては、その通りや。しかし、支

局長さん。公害問題は、ちょっと違うな。アテにしとる。せんわけには、いかんのや」

急に言葉を切ると、金原はにらみすぎるような視線を支局長に注いだ。

「記事がつぶされたとか、つぶしたとかウワサは聞くけどな、そんなこと、わしは知らん。ただ、な、工場の周りの人間は、みんな待つとるよ。新聞がいつ書いてくれるのかつてな。それだけは、頭の奥で覚えておいてくださいらんか」

中年の豊屋と、中年の記者。ふたりの視線がからみ、もつれ、火花を散らした。そのまま、何秒かが流れた。やがて石津支局長は、ゆっくりと頭を下げた。下げた

まま、動こうとしない……。

ことばは、なかつた。いや、どんなことばよりも、この言であるこの方が、この場合、適切であるといえた。

何のために公害キャンペーンをやろうとしたか。何のために取材で苦労したか、何のために、本社と闘つた。

で掲載しようとしているのか。

すべてが読者、つまり住民のよりよき生活を願つてのことである。そして、いま、その住民の側から、願つてもない協力の申し出があったのだ。

金原の方も、無言だった。

無言の重みを、この男もかみしめているのかも知れない。「ありがとうございます。必ず、効果的に使わせて頂きます」

ようやくそれだけ告げると、支局長は二つの山をつくりているアンケート用紙に、熱っぽい視線をあてた。

「それじゃ」

金原は短かくいうと、立ち上がった。

「戸波記者に、くれぐれもよろしく」

あとに熱気を残して三人の招かれざる客が消えてゆく。

泉田次長が寄ってきた。松岡と八木沢も取り囮んだ。

みんな、遠まきに様子をうかがっていたのだ。

三人を等分に眺めると、支局長は小さく、何度も肯いた。そして、突然にかみつくように口を開いた。

「八木沢君、この資料、手分けして、点検してくれ、突つこんだ意見、ユニークな公害対策なんかを書きこんでくれている住民には、もう一度、めれなく、われわれがインタビューして、確かめるんや。」

「わかりました」

「あ、そうそう。少々の公害は、繁栄のために我慢すべき」というような意見があれば、君自身が訪ねて、くわしい話をとつてくるんや。それも、紙面にのせるからな」

「松岡、いまの金原という人物は、たしか、君と戸波が別人のように張りのある声だった。」

「取材に行つたんやな」

「え、そうです。豊屋ですが、なかなかしつかりした、むしろ手ごわい男です」

「そうやろな。じや、こんどのアンケート、どんないきさつで始めたのか、どういう地域から集めたのか、くわしく取材しなおして来てくれ」

獲物を目前にした獵犬のように、支局長のひとみがギラギラと光った。

「それから、戸波に連絡とつてくれ。なんられたかどうか知らんが、辞表を出しつばなしで一週間も音サタなしとは、ふとい奴や」

ことばとは逆に、部下を気づかう表情である。

「あいつのおかげで、このアンケートが舞いこんだようなもんやのに、何をしとるんや。そうや、松岡。戸波のところは、おれが行く。行つて、引っぱり出してくるよ。本社には、それから巻き返しや」

いうなり乱暴な仕草で泉田次長の肩を叩く。泉田が、ニタツと笑い返す。

「巻き返し、ですね」

武者ぶるいに似た何かが、記者たちの背筋を走つた。

六甲山系の中腹にあるその墓地公園からは、須磨の海が真下に見えた。その向こうの淡路島までが、晚秋の朝日を浴びて、手の届くところに横たわっている……。

堂本俊夫の墓標は、墓地の中でもひとときわ小さかった。小さいけれど、精いっぱい胸を張つているようにもみえた。

用意した線香を立て、花をいけると、戸波は合掌した。目を閉じる。堂本がよみがえつてくる。恨みに満ちた娘のしのぶの表情も……。

ほんのひと月あまり前、戸波は堂本が無罪判決を受けた記事を書いた。それは、怠惰な記者生活に別れを告げたため、清算の一つであった。



そしていま、本当の清算期が近づいたことを確かめる  
ように、ここにぬかづいでいる。もうこの世にはいない  
堂本に、報告するため――。

この一ヶ月あまりの間に得たもの、そして失ったも  
の。その一つひとつが、脳裏を走りぬけてゆく。貴重な  
もの、いまわしいもの、二度と思い出したくないこと…  
記者生活にまつわるすべてを、ここに埋葬して行くの  
だ。

堂本の墓標が苦笑しているように見えた。（まだ、お

れに迷惑かけるのか）と、にらんでいるようにもどれる。  
不意に肩を叩かれた。

石津支局長の無精ヒゲが、すぐ鼻先にあつた。

「やっぽり、ここやつたな」

場違いな、荒らっぽい声である。

「朝から君のアパートを急襲したなら、思いがけない美  
人が現れて、部屋を間違えたのかと、びっくりしたぞ」

「すんません」

「いやいや。その美人にな、墓参りやと教えて頂いて、

「ピンと来たらんや」

「しかし、どうして、こと…」

「バカ。葬式の翌日に、おれは、ここへお参りに来どる

んじや」

こともなげにそういうと、支局長は封書を取り出した。  
「用事が、いっぱいある。まず、これや。君の辞表や。

これは、返す。受け取らんのなら、ここで破る」

返事も待たずに、封書をズタズタに引き裂いた。紙片  
が、こなこなになつて宙を舞つた。

「支局長！」

「変な声、出すな。なんじや、寝小便されたみたいな顔  
しやがつて…」

不意に生暖かい感情が戸波の鼻腔を走つた。  
傍若無人で、浪花節型で、それでいて頼りなげで、人

聞くさい男であつた。

この支局長のおかげで公害取材班に入れられたのであ  
る。首筋をつかまれ、無理矢理、公害に鼻を押しつけら  
れた氣もする。そして細川亜紀子との出会い――。

思えば、幕切れを飾るにふさわしい体験の積み重ねで  
あつた。その一つひとつに、この男がからんでいたとも  
いえる。

新聞記者をやめることに悔いはない。が、それに付隨  
して引き起こるいくつかの別離が、そのつど戸波の胸を  
チクリと刺したのも事実である。

この支局長との訣別もまた、どれにも劣らぬほどの強さで胸に刺さりそうな気がする…。

六甲おろしに髪を逆らわせながら、支局長は戸波の腕をつかんだ。

「おい、行こう」

「どこへ行くんです」

「決まつたるやないか。支局や。支局へ行つて、取材に

とりかかるんや」

「僕は、やめます。いや、やめました」

「辞表みたいなもの、いま破つて、捨てたよ」

「それは、支局長の自由です。でも、僕はやめます」

不思議に悲壮感はわいてこない。

もうすっかり心の準備が終わつたからなのだろうか。

いや、心だけではない。引越しの手続きも済ませた。二

日前には、金沢へ飛んで、実家へ帰つたままの妻との離

婚届も役所へ提出してきたのだ。

妻の淳子は、あつさりと書類に印鑑を押してくれた。

三年間の空白が、事態を処理するのに役立つたようだつ

た。妻は他人以上に他人になつてしまつていて。そのこ

とが、戸波の心を軽くした。

「だれか好きなひと、できたのね」

薄ら笑いさえ浮かべ、淳子が別れぎわにいつた。

戸波は、それには答えなかつた。答えのないことでは、

淳子はなにかを読みとつたようだつた。

「私も、そのうち、再婚するわ」

それが、最後のことばだつた。

「報告」を聞いたユカは、「奥さんに、わるいわ」と

聞きとれぬほどの声でつぶやいた。

「ほんとに、いいのね」

もう百遍もくり返した料白を、また口にした。「一緒に暮らそう」という戸波の言葉が、どうしても信じられない風情であった。

「だって、戸波さん、私の本籍も、本当の名前も一向に聞いてくれないんやもの」

恥じらいと、かすかな恨みの眼差で、まぶしそうに戸波を見上げた。——それが昨夜おそくのことである。

「わるいけど、僕、帰らせてもらいます」

腕をふり払うようにして、支局長から離れた。

「彼女が、待つてますから…」

その正面に、支局長が立ちはだかる。

「読者も、待つとする」

六甲おろしを押しのけるような声だった。

「けさ、地元の金原さんという人が、君あてにアンケートを持ってきててくれた」

その内容を手短かに説明すると、支局長は再び戸波の手首をつかんだ。

「これを突破口にして、もういちど挑戦するんや。たのむ。もどつてくれ」

火のような瞳がそこにあつた。心が全く動かない、とい

えればウソになるだろう。何かが胸の底で鎌首をもたげた。

「新聞記者の血」が、かすかに騒いだ。

しかし、言葉は反対側から出していた。

「もう、いいんです。僕のことは、そつとしておいてください」

「バカ野郎」

怒りが、はじめて視線にこもつた。

「いま脱落してどうする気や。何のために、今まで闘つてきたんや」

「もう、よしましよう。そんなもの、どうせ、また、ボツですよ」

上司の毛深い掌が、ネクタイごと戸波の胸倉をつかんできた。

「おい、思い直せよ。戸波」

「もう遅い。もう結構です」

「バカ、まだ遅くないのや」

悲鳴に似た声だつた。

それに合わせて六甲おろしが、ひゅうと鳴つた。

## talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

★ Dear 神戸っ子編集室の皆様。  
毎月、郵便受けにねじこまれた神戸っ子を引き出すのをとても楽しんでいます。でも、とうとうこの日が来たのですね。というのも、ちょっとオーバーであります。あれから一年、初めてお便りしました様に今でも、神戸に憧れ続けております。本当は何の関わりもない筈なのに、いつも手をついて歩いているような、ふと隣を見ると神戸があるような気持ちほんのちょっとですが神戸の空気を感じてきました。今年の夏は、神戸っ子が運んでくれる匂いと同じなんですね。お洒落でおしゃって温かいものが漂っていました。そして、何が感じた私でした。あー、早く神戸っ子志願っ子P・S近い内、そちらに行くかもしれません、おじましても宜しいですか。

★ 福岡市南区清水四丁目 10—14  
△川本 康子▽

★ 福岡からのオハガキがどうり

好(読者と申すべき処読よりも

何よりも先ず毎月その表紙を見た

だけでそしてイラスト何にもかも

がすかり魅せられてしまう)者

△編集部▽

★ 小生貴「神戸っ子」のひどい愛

生を送っております。その方

面の方々も知人か居られます。

先生の自己紹介がたがた獻足

をお待ちかね。気軽に立寄りを。

△編集部▽

★ 新幹線なら3時間30分。やはり

神戸の山と海のある空気や匂い

と一緒に味わって下さい。

△編集部▽

★ 東京に居ても最近では神戸のお

店が進出して来ているので居なが

らにして大抵のものは買う事が出

来る様になつたのはうれしいが

どうぞお元気で。(編集部)

（四十年歴）というので社用で上阪

の場合は必ず神戸を訪れて神戸を

語らつていました。(大正の初期か

ら)「神戸っ子」は毎月神戸の知

人から送つて貰っています。もう

ずい分沢山溜つて書棚を飾ってお

ります。処で、誌上社告のあります

橋本明著「世界の福祉施設」

ひ早くから一度拝見させていた

だけまとめておりました。これ

まで友人に頼まれませんでした。

び伸びになつてしましました。実

は小生の義妹が東京都府中市です

ごい大がかりの特別養護老人ホー

ム信愛会初め三四つの福祉施設の

理事長が多摩福祉会の理事長を

近に居りますので、この著書を送

ってやり度いとこれもかねてより

考えておりましたので、専門親し

く拝んでいたので、再度貴社

に御願い致し度いとの所存で今回

はどうええ私自身のために一冊

註文申した次第です。何卒よろし

くお願申します。専門の老者は、

珈琲愛好家とも申し、六十一年に亘り

珈琲を心から嗜み愛飲しており

ます。しかし節飲で無茶な暴飲は

いたしません。それより街の研究

から食べものを食べる立地的条件

などみんなもののが總てそろつて

いるのかもしれない。幾ら神戸のう

まいもので空氣も景色も良かっ

たものじゃない土地にやつて来て

はどうしようもないだらう。

やはり神戸の食べものは神戸に

行って食べるのが一番の様であ

る。神戸のお店が行かないで不精

な物を食する事はない。

東京都練馬区豊玉北一—一二

ムサシノアパート2号

△編集部▽

★ 新幹線なら3時間30分。やはり

神戸の山と海のある空気や匂い

と一緒に味わって下さい。

△編集部▽

★ 生田神社の鳥居が立派な

門で多くの人が観劇したことで、

会員倍増を計る「神戸簡便会」に

ぜひ入会をと呼びかけています。

★ 生田神社の名譽官司であり、神

社本邸長老の加藤次郎さんが

亡くなられ十月八日生田神社社会館

でおどろかに生田神社葬がとり行

われました。ご冥福をお祈りいた

します。

★ 神戸市民協議会の谷本昌平さん

が、十一月一日藤井美佐子さんと

オリエンタルホテルで結婚。お

めでとう。

△編集部▽

です。先生(83才)は若い頃から

御繁栄御発展を祈ります。

福岡市中央区荒戸一丁目二番二

十一号

△鶴原龍二▽

★ 神戸大学文学部の野口武彦助教

授は、九月からプリントストン大学

に滞在中。

アメリカの住所は、

ス。どうぞお元気で。(編集部)

★ 東京に居ても最近では神戸のお

店が進出して来ているので居なが

らにして大抵のものは買つ事が出

る。

## KOBE POST

★ 東京に居ても最近では神戸のお店が進出して来ているので居ながらにして大抵のものは買つ事が出来る様になつたのはうれしいがとりわけ食べるものに関して言えばうまくないのである。どうも直正なところ、ひともふたあじも遠いすぎる感じがする。神戸に行つて食べた時や阪時代に神戸に寄つて買った時のあの味わいじつまで友人に頼まれませんでした。これまで友人に頼まれませんでした。伸び延びになつてしましました。実は生の義妹が東京都府中市です。大がかりの特別養護老人ホーム信愛会初め三四つの福祉施設の理事長が多摩福祉会の理事長を永年いたしておる者が身近に居りますので、この著書を送つてやり度いとこれもかねてより考えておりましたので、専門親しく拝んでいたので、再度貴社に御願い致し度いとの所存で今回はどうええ私自身のために一冊註文申した次第です。何卒よろしくお願申します。専門の老者は、珈琲愛好家とも申し、六十一年に亘り珈琲を心から嗜み愛飲しております。しかし節飲で無茶な暴飲はいたしません。それより街の研究から食べものを食べる立地的条件などみんなのが東京に来るるとうまくないのかを考える他の類似品と大差なくって失望する。



★ 現代美術の河口龍天さん(本誌目次)は、十一月に、もと住んでいた須磨汐見台にアトリエを完成。十一月中旬よりヨーロッパへ旅立たれます。自宅 127 Bayard Lane 住所 Princeton, New Jersey 08540 U.S.A. 留守宅 (T 655-9) 貝屋市大原町 26-9 ★ 伝統の文化、芸能を守る原動力にと、上方歌舞伎の伝承者、実川延若丈の後援会「神戸井筒会」会長宮崎雄雄(神戸市生田区下山手通1-10、生田井筒会館)が三月に生まれ(3月2-1-3-8-5-1)が三月に生まれ、会員三六〇名といふ状況ぶり、中座、文化ホールの観劇会も終えた後、9月1日季刊の後援会報「いつづ」の名で創刊号を発行しました。この会の創刊に刺激をうけ、会員三六〇名といふ状況ぶり、中座、文化ホールの観劇会も終えた後、9月1日季刊の後援会報「いつづ」の名で創刊号を発行しました。この会の創刊に刺激をうけ、大坂で「上方歌舞伎を勧ます会」が生れたとか。何といつても歌舞伎の伝統を守るには、一人でも多くの人が観劇することで、会員倍増を計る「神戸井筒会」にぜひ入会をと呼びかけています。神戸生田神社の名譽官司であり、神社本邸長老の加藤次郎さんが亡くなられ十月八日生田神社社会館でおどろかに生田神社葬がとり行われました。ご冥福をお祈りいたしました。



花嫁修業にカーライセンス



現代っ娘には不可欠ね!!

山下 礼子さん（邦楽家）

「とても私には自動車の運転は不向きときめかかっていたのですが、神戸自動車学院の先生方は、とても親切なので、私もこの分ならいい線行くんじゃないかしら。免許は持つと便利だし、持つのが普通、もう現代の生活では不可欠じゃないかしら。彼にやってみなくちゃわからないよといわれて目下必死で挑戦中です」



神戸自動車学院のドレーチャー室

公安委員会指定・技能試験免除

## 神戸自動車学院

☎ 581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号(神鉄山の街下車)

- スクールバス神戸市内送迎(三宮・神戸駅・湊川・鈴蘭台)
- 保育設備有
- 全車新車

## インテリアをトータルに考える内装材サンプルルーム

あらゆる内装材の大型サンプルを  
国産・舶来あわせて一堂にそろえた  
全国で初めてのショールームです。  
小さなカタログ見本だけで、全体の  
イメージをつかむのは難しいもの。  
マイホームをお考えの方も、専門家も、  
自由に手にとってご覧ください。  
建築のご相談もお気軽にどうぞ！

### 内装材サンプルルーム

阪神・新在家駅南ブリコビル2F  
☎ 078(851)3191代



### 展示内容

- カーテン・カーペット・ロールスクリーン・
- 壁装クロス・ガラス・タイル・ステンドグラス
- 石材・レンガ・金属・床シート材・木質材・
- 建具・輸入家具用金物・塗装仕上材・その他

家具・室内装飾・住宅・店舗  
企画・設計・施工のオールマイティ

入船株式会社  
神戸市灘区新在家北町1丁目1-19

ブリコビル2・3F

☎ 078(851)3191代

トータル・インテリア・ショップ

グランド六甲ボウルビル1・2F ☎ (851)2841

IN インテリア ブリコネ

# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300  
トアロード店 TEL 391-2538  
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれない  
三宮生田新道浜側中央  
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱ吉本  
神戸市生田区加納町3丁目95-1  
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おむすび 悟味西  
お茶漬・かはた 神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
三宮さんらカタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび  
福ちゃんのふるさと里  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535

たこ焼たちはばな  
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
生田区東門筋東門会館ビル1階  
TEL 331-7770

カニ料理 婆婆羅(ばさら)  
神戸市生田区北長狭通1丁目18  
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F  
TEL 321-6363

天プラハウス 美術喫茶瀬戸  
神戸市生田区山本通3丁目27の9  
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

## ★西洋料理

レストラン アボロン  
神戸市葺合区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン 鹿皮〈あらかわ〉  
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門  
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン セントジョージ  
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン 男爵  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷  
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどう  
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン フィッシャーマンズポート  
神戸港第4突堤ポートターミナル  
TEL 331-0301

居酒屋 ロス・ヒターノス  
生田区下山手通3丁目22  
下山手セントラルハイツ  
TEL 391-5431

レストラン ムーンライト  
三宮・生田新道 TEL 331-9554  
月六段  
生田区元町通3丁目 TEL 331-2108

レストラン スイスシャレー  
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F  
TEL 221-4343

フランス料理 ビストロドゥリヨン  
神戸市生田区山本通2丁目40-1  
TEL 221-2727

ピッタハウス ピノッキオ  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545

レストラン フック東店  
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店  
葺合区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス グリル青山  
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 391-4858

レストラン フック神戸店  
神戸市生田区栄町通2丁目24 TEL 321-3453

レストラン 元町フルーツホール  
元町1番街 TEL 331-1987

ピザ・パブ ピザ・パテオ  
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)  
TEL 331-9378

ナシイド火の鳥  
神戸市生田区中山手通1丁目27  
TEL 242-1330

スカンディナビア料理  
世界の民族音楽の店  
ゴックスタッド  
生田区山本通3丁目18 回教寺院前  
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 ティファーナ  
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 バールコーポラスピル1F  
TEL 242-0043

ステーキ&  
ドリンク  
黒牛  
神戸市生田区中山手通2丁目39の36  
TEL 241-3739

ドライブ風  
音楽レストラン  
コーベ・ローレライ  
生田区北長狭通6丁目39  
TEL 371-0086

★喫茶  
宮小の  
にしむら珈琲店  
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872-231-9524  
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669  
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467  
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶ガーデニア  
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F  
TEL 321-5114

珈琲モーツアルト  
神戸市生田区山本通2丁目98グランドマンション1F  
TEL 241-3961

ティー&  
スナック  
サボテン  
神戸市生田区中山手通2丁目  
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

ティー&  
スナック  
工ポツク  
神戸市生田区元町通3丁目(浜側)  
TEL 331-3694

★club  
クラブ  
千鳥  
神戸市生田区下山手通2丁目1121  
TEL 391-1077

club  
飛鳥  
神戸市生田区中山手1丁目1117  
TEL 331-7627

club  
小万  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638-4386

club さち  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120

club なぎさ  
神戸市生田区北長狭通2ノ1 TEL 331-8626  
くらぶ一げん  
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F  
TEL 331-8593

club  
Moon Light  
BAR TEL 331-0886-391-2696  
Club TEL 331-0157

クラブるふらん  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854  
★STAND & SNACK

お好み鉄板スナック  
スカーレット北野  
神戸市生田区北野町2 北野アーバンライフ1F TEL 242-0076

ドリンク&  
レストラン  
ベルビュードール  
神戸市生田区中山手通2丁目101 天洋ビル2F  
TEL 321-5677

スタンドかてな  
生田区中山手通1丁目90 英雄ビル1F  
TEL 331-1316

洋酒ハウス  
雜貨屋  
生田区下山手通2丁目8の6  
(生田新道相互タクシー構上) TEL 321-0260

スタンドグラムール  
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク  
姫  
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ  
サヴォイ  
高架梁側 チキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS  
AN ART OF LIFE  
ウッドハウス  
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック  
ビジービー  
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋ボルドー  
生田新道浜側中央KCBビルB1F TEL 331-3575  
珍地理屋  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン  
神戸時代  
生田区中山手通1丁目28  
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

ナイトイン  
おしゃれ貴族  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スタンドくじ  
生田区中山手通1丁目72  
TEL 331-6985

キヤンティ  
本店洋酒の店  
北店スープとパンの店  
神戸市生田区下山手通3ノ8/9  
tel 331-3661

DRINK  
SNACK  
スネカリッ子  
神戸市生田区下山手通2丁目  
水見ビルB1 TEL 391-8708

music spot  
サントノーレ  
トアロード店 生田区下山手通2丁目トアロード  
北野店 生田区中山手通1丁目24-7  
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞でつさん  
神戸市生田区北長狭通1丁目258  
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ  
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下  
TEL 331-5587

スナック  
GASTRO  
神戸市生田区中山手通3-20  
トアマンション TEL 231-0723

バスチャーリントン  
生田区北長狭通2丁目(トアロード)  
TEL 332-1125

純会員制 エドワーズ俱楽部  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
ホワイトローズビル5、6F 生田新道 TEL 391-3300

サロントルバトロス  
生田区中山手通り1丁目24の7  
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)3300

CAFE WHISKY  
音楽の家 ETエトワTOI  
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口  
スカイトアビル3F TEL 332-1755

スナック  
山莊  
神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

スナック  
紋  
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1レンガ筋  
TEL 331-8858

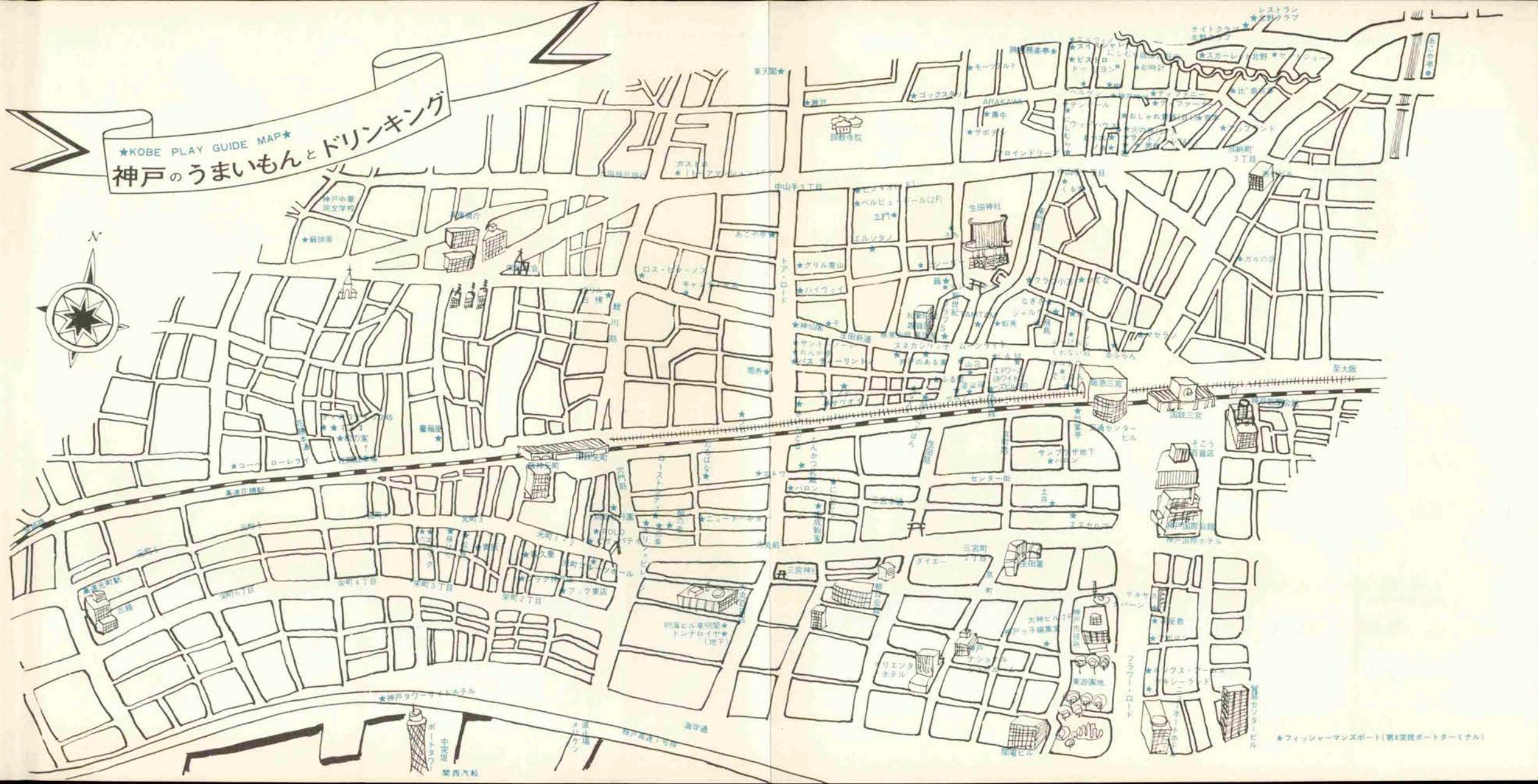
スナック  
與志務樂亭  
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1  
TEL 242-1977

S N A C K L G M  
生田区北長狭通1丁目25  
生田新道ビルB1  
TEL 321-3070

★KOBE PLAY GUIDE MAP

## 神戸のうまいも

# 神戸のうまいもん





**balCon**  
antique  
series  
**34 人形**

角卓さん

〈画家・光風会〉

「原点にかえること、ストレートにナチュラルに生きること、このシラジラしい世の中ではたいへんなこと」そういう角氏の今の生活は、「その奥へ、その奥へ、わかり得ない世界へわかり得ないままであっても没入すること」であり、「疑問をもってはじめての物事を発見した過去の人々のその感激は今の世界にない」と残念がる。

何事にも何故？どうして？の疑問を投げかけながら、自分に一生懸命に行為スルことが、生きていること。

さんプラザ店  
カメラ／米田 定 藏



**バロン**

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店  
TEL 391-1758 AM11:00～PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店  
TEL 391-1210 AM10:00～PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店  
TEL 391-1375 AM10:00～PM9:00迄

# 買物・味散歩

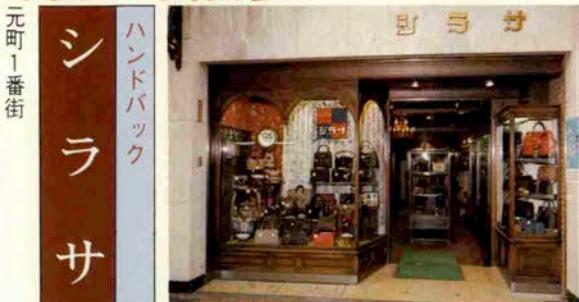
シラサ



ハンドバック

元町1番街

321/0801



いかにも元町といった雰囲気のハンドバック専門店シラサには、ミセスの方々に評判の高い品揃え。イタリアのグッチ、フランスのディオールセリース、そしてシラサのオリジナル。この秋冬は、黒と茶がとてもシック。

ラ・モード

アートの秋にふさわしい『ラ・モード』の彫刻のあるウインドウはモダンでシックな雰囲気。神戸らしいが漂うこの店は、色・柄・シルエットとともに本格派好みのオートクチュールなのです。

元町1番街  
331/5689



菊

刃物・金物・家庭用品

秀

元町1番街  
321/0616

毎日使うキッキンセツトの数々は、女性にとつて何よりの関心事。ストックリー社、スプリング社などイスを代表する手打ち銅製品はことに好評。コーヒーカップや、グラスの色々、包丁、はさみ類など老舗らしくサービスの行きとどいた品揃えです。



とんかつ 一番

二つ茶屋二階

元町1番街  
331/0755



とんかつ  
¥1,000  
ふきよせ  
¥1,400

食欲の秋。スタミナがついて、気軽に楽しめる“とんかつ料理”は何といっても会社帰りや家族連れには一番。とんかつその他に、串かつ、エビかつ、ロールとビール(大300円)でぜひ。

# 千秋堂

洋品の店



元町4丁目  
341／6959



秋は男の粹をみせるおしゃれな時。シニアの本格派を中心とした、ブレザーやニットシャツ、スポーツシャツは“千秋堂”的風格をみせたコレクション。

この秋冬は、茶や、ダークな色のものが多く柄もシックに落ちついた傾向です。

# マスヤ

婦人服飾

元町3丁目  
321／5991



なんといつても秋はおしゃれに心ときめく時。元町らしいゆつたりとした店構えのマスヤは、神戸の女性にふさわしいトータルなファッショングーディネイトが楽しめる豊かな品揃えです。

# みの幸

京風料理

元町4丁目  
351／6288



元町3丁目浜側  
331／3694

# エボック

ティー&スナック



元町でちよつと落ちついた雰囲気の「みの幸」で、京の味が楽しめます。季節料理の一品で灘の生一本をとういうのもおつなもんだし、カニスキ、しゃぶしゃぶ、湯豆腐、また“みの幸鍋”など暖かい鍋料理が、冬にむかって家族連れで味わって下さい。



営業時間午前9時～午後8時迄  
珈琲／紅茶200円 スパゲティ  
カレー300円 月～土午後6時～  
9時 20名以上の貸切りパーティ可。

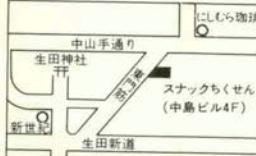
秋の夜のひとときを《ちくせん》のあたたかなスペースで……



小集会・誕生祝・忘年会などのパーティーにご利用下さい。

ちくせんミュージックタイム

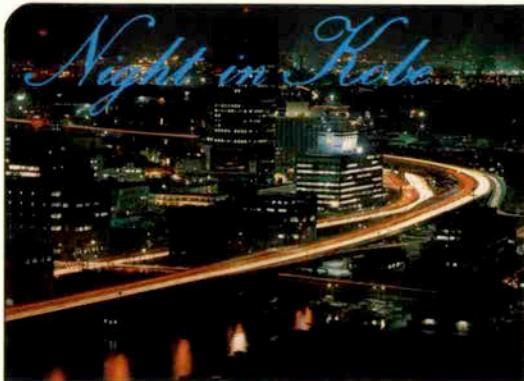
神戸のター坊による演歌熱唱 8:00p.m~0:00a.m.



スナック  
**ちくせん**

生田区中山手通1丁目85(東門筋)中島ビル4F ☎331-3131  
近藤正実・岩本文夫





## Night in Kobe

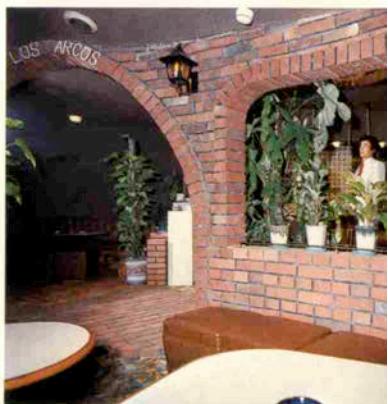
# SATIN DOLL

生田区中山手通1丁目57  
TEL 242-0100  
6:00P.M~4:00A.M 無休

今日のお客さまは、亀井氏の会社、レンタルスタジオ・神戸ボーセーレンの新入社員歓迎パーティでした。みなさまも、ご家族づれ、小パーティに、飲んで食べて、ジャズに乗ってのサテンドールで気軽にお楽しみください。



秋。  
なにげない語らい  
吟味されたメニュー  
おしゃれなスペース。



生田区中  
大和ナ  
TEL 2  
2  
6:00P.



この看板のお店です

**STRANGER**  
トア・ロード丸善ビル4F  
TEL 391-8578  
6:00P.M~ 年内無休



RESTAURANT

# UP LANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎ 241-8271

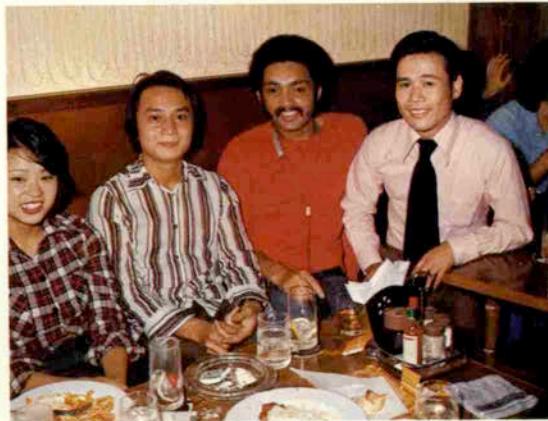
## KOBE DRINKING GUIDE

# 山崎 ステーキルウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

# WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320

## RESTAURANT

# SWISS CHALEC

生田区北野町3丁目48

アーノルドマンション1F

☎ 221-4343



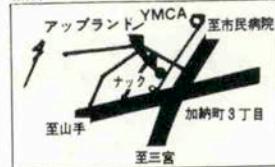
★バブといえばイギリスが本場。『アップランド』のマスターD.A.トーマスさんは、イギリスのウェールズ出身。彼自身バブ野郎を自認しているのですが、本場の気安くて陽気な雰囲気とライブミュージックの店として『アップランド』をオープンして2カ月。楽しく飲んだりしゃべったりする若者や外人客でいつも賑やかです。今日はミュージックタイムをご紹介しましょう。月、水、金曜日(8:30 P.M.から4回)／チャーリーとショウのギターとボーカル。火、木、土曜日(7:25 P.M.から4回)／難波&高垣のピアノとベース演奏。

☆ランチタイム(11:00 A.M.～2:00 P.M.) ランチ¥400 コーヒー、紅茶各¥200

☆ローストビーフ¥2,700 シエバーズパイ¥850 ステーキ&キドニーバイ¥600 コーニッシュバースティ(ミートパイ)¥600 フィッシュ&チップス¥500 J&B,OLD,G&G各¥400 ビール¥300

平日・祭日 11:00 A.M.～3:00 A.M. 日曜 6:00 P.M.～0:00 A.M.

無休



## アップランド

### KOBE DRINKING GUIDE



## ヤマサキ

★秋も深まり爽やかな季節になりました。さわやかな秋はまたステーキのおいしい季節です。ステーキハウス“山崎”へいらっしゃいませんか。最上級の神戸肉と新鮮な生野菜をご賞味下さい。きっとご満足いただけるでしょう。また、落ちていた雰囲気、それに、各種のワインも揃っていますので、ゆっくりとお食事を楽しんでいただけます。30名ほどのパーティーの予約も承っています。家族づれ、友達同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ¥5,000 サーロインステーキ¥3,000 テンダーロインステーキ¥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き、ビール¥300 ポトル(OLD)¥5,000 ポトル(ホワイトホース)、ポトル(カティサーク)各¥7,000

5:00 P.M.～1:00 A.M. 日曜日休み

## ★ウッドハウス・お店の人紹介第3弾

本名小浜アキラ、27歳、通称アキラ。九州は佐世保出身の九州男児。酒はめっぽう強く、特に日本酒とくれば強いの何……分らない。それに彼の音楽好きは有名なもの、それと踊り。昔のツイストから最近のゴーゴー、そして今流行しているパンプと……何を踊らせてても絵になる彼です。セクシーな感じで彼女にせまれば天下一品。お嬢さん、いかがですか。一度彼と踊っては……？ ウフフ。ところで彼は一児のパパです。念のため。

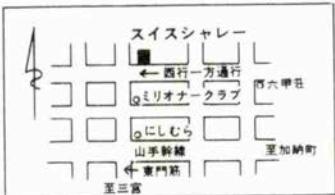
☆営業時間のお知らせ。平日／5:00 P.M.～2:00 A.M. 日曜／6:00 P.M.～0:00 A.M. 年中無休

ビール(小)¥300 水割り(オールド)¥400 ワイン¥500 おつまみ¥100 スパゲティ¥400 ピラフ¥400 ほか。

## ウッドハウス



## スイスシャレー



★空気が肌にひんやりと感じられる季節です。こういうときは家庭的な雰囲気の店であたたかい食事をしたいもの。『スイスシャレー』はスイス人の経営による本場のスイス料理の味わえる店です。静かな店内は食事のあとにくつろぎのひとときには最適です。これから季節にはフレンチスタイルのベッパーステーキ(¥3,700)、ターターステーキ(¥3,500)、ビーフフォンデュー(¥3,800)、チーズフォンデュー(¥2,300)などをおすすめします。ご家族づれで、グループでぜひお楽しみ下さい。また、月曜日には貸切りのパーティーをやっています。ご予算に合わせて料理を用意しますのでお申しつけ下さい。他にも各種のスイス家庭料理(¥1,500～¥2,000)やスイス、フランス、ドイツのワイン(¥1,500～¥4,500)を取り揃えております。

12:00 P.M.～10:00 P.M. 日曜日休み